



夏野菜の苗、定植中です



キュウリは一足早く4月上旬に移植しました。ウリ科は生育が早いので5月下旬に出荷開始予定です。



ミニトマトは一番花が咲いた頃が植え時です。根の巻きも良く体ががっしりした良い苗に育ちました。



ポットから苗を取り出し植えた後、苗の根下を押しつけるようにすると隙間が埋まり根が活着しやすくなります。水は控えめにしながら育てていきます。

おかげさま農場は「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

★立派に育った苗を定植しました

4月なのに6月下旬なみの気温の日もあり、今年は全般的に温暖な日が続きますね。さて、2月にゴマ粒より小さな種を蒔き保温しながら育苗してきたミニトマトですが、ついにハウス内へ移植されました。ミニトマトは家庭菜園では露地に植える事が多いのですが、農家はハウス内で育てます。高柳場長が「野菜を育てる時は原産地の事を考えろ」とよく言いますが、トマトの原産地はアンデス地方、つまり冷涼で雨量が少ない地域なのです。「日本には梅雨があるから、高温と湿気がトマトにはダメなんだよ。ミニトマトは何とか露地でも大丈夫だけど、大玉トマトは割れたり木が弱ってダメになっちゃうな。だから雨よけをした方が良いぞ」

また、ハウスに植えることで、まだ気温が低い4月でも初期生育を早める事が出来るため収穫期間が長くとれるのです。そして最終的には茎は親指より太く背丈は2mを優に超す状態になります。

「トマトは一番花が咲いた頃に植えるとちょうど良いと言われているんだ。それより早いと木ばかり大きくなって実がつかない、なんてこともあるんだ」ということで、ちょうど一番花がついた先週の土曜日に定植しました。キュウリは一足早く植え付けましたが、これからはナス、続いてカボチャの定植が待っています。植え付けが夏野菜の苗は気温の上昇と共に生育の速度を増します。そして来月下旬にはキュウリ、再来月上旬にはミニトマトの出荷開始です。

【産地情報】

◎葉付き人参は4/24(土)から出荷開始しました。通常の新人参は5/8(土)から出荷開始となります。